

# 原子力空母のない、平和で活力ある横須賀を 今年も参議院選挙と市長選挙の年



## 希望の持てる社会を… 新年を迎えて

2013年が始まりました。

昨年は、年末の衆議院選挙で民主党が大敗し、自公政権が復活しました。国民の期待を裏切った民主党政権と日本経済が行き詰まりから脱却できない状況に対する国民の厳しい審判が下されたものと思います。

自民党が議席の上では圧勝しましたが本当に国民の期待に応えることができるのか。国民の願いと議席数との「ねじれ」は広がっており、政治の混迷状況は今後も続くことと思います。

このような時こそ、政治理念を強く持ち、将来のビジョンや展望をしっかりと示しながら今の課題の解決に取り組む政策を打ち出すことが必要と思います。今年も、参議院選挙と横須賀市長選挙があります。

希望の持てる社会をつくるため、私たちも全力で頑張ります。今年もご支援をよろしくお願いいたします。

**よこすか** 市民新聞

2013年  
No. 178

発行：日本共産党三浦半島地区委員会  
住所：横須賀市公郷町 2-21-1 電話：851-1123 FAX:852-2398  
市議団 HP <http://www.jcp-yokosuka.jp/>

## 日本共産党市議団の第4回定例会、第2回臨時会報告

保育園でも給食の放射能検査を実施して下さい

### 請願が僅差で否決される

小学校と同じように、保育園でも給食の放射能検査の実施を求める請願が提出されました。

日本共産党は採択をするよう努力しましたが、本会議で18対20という僅差でかき落とされました。請願には2千筆近い署名が添えられており、請願者からの意見陳述も行われ、給食での内部被ばくに不安を持つ保護者の方たちの強い願いが伝わってくるものでした。

乳幼児への内部被ばくの防止に市が真摯に向き合っていかなければならないということを強く市に意識させることができたのではないのでしょうか。こども育成部がこの取り組みを促進するよう、今後も働きかけていきます



ねぎしかずこ議員

### 総選挙

## 民主党が歴史的な大敗 自民圧勝は小選挙区制のゆがみ

昨年の総選挙で、「民主には裏切られた。しかし、自民にも戻りたくない」という声があったように、民主党は大敗し、自民党も票を減らしました。それでも自民党が圧勝となったのは選挙制度がゆがんでいるからです。民意が正確に議席に反映される選挙制度への改革が急務です。

### 漁網受け入れ問題

日本共産党は、住民合意を尊重する立場から、知事に対して市議会が「漁網受け入れを求める意見書」を提出することに反対しました

漁網受け入れ問題は、一年前の震災がれき焼却灰受け入れの延長で出てきている問題です。

知事は当初から、地元町内会と結んだ「協定書」や住民の意向をないがしろにする発言を繰り返し、県に対する不信感をよりいっそう増大させました。その後焼却灰から漁網になるなどもあって多くの議論を呼び、地元町内の方がたも対応に苦慮されてきました。

### 被災地支援は多様な形で

昨年12月22日に大楠連合町内会は住民意向調査の結果、受け入れ反対を発表しました。

被災地支援のお気持ちを強く持たれながらも、出された結論はたいへん重いものでした。

被災地支援は、決して漁網だけではありません。まして行政が住民に押しつけるべきではなく住民合意を大前提に、多様なやり方を考えるべき問題です。地元の結論を尊重すべきなのに、市議会が意見書を出すなどということは、混乱を招くだけだとして反対しました。

## 比例票で議席を配分すると 日本共産党は29議席

### 比例選挙の得票全国集計の推移

(単位：万票)	今回		10年参院選		09年衆院選	
	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
日本共産党	369	6.13	356	6.09	494	7.02

# 市民の願いを市議会に届ける



## 自治基本条例通らず

自治基本条例は成りませんでした。また、住民投票条例と地域自治推進条例についても否決されました。

## 市民参加の検討委員会がまとめた報告書を覆した市の案

住民投票条例検討委員会（市民委員5人。学識者3人。）から出された方向性は

- ①住民投票の対象として市の権限に属さない事項も入れる。
- ②請求の手続きは6分の1以上の署名が必要。となっていました。

- しかし、市の条例案では
- ①は市の権限に属さない事項は除く。
  - ②については4分の1以上となりました。

いったい何のための検討委員会だったのかということが問われます。国の専権事項に意見表明すらできないというのは、自治とは名ばかりのものとなってしまいます。

## 日本共産党は修正案を提案

日本共産党は賛同する議員とともに「検討委員会の報告を尊重すべき」と修正案を提案しましたが、賛成少数で否決されました。

## 市長の姿勢も問われる

検討委員会に「丸投げ」して、示された方向性を覆し「骨抜き案」を提案。これでは、本気で自治基本条例をつくりたいのかと、多くの市民、そして特別委員会の議員にも市長の姿勢に不信が広がるのも当然です。



大村 洋子議員

## 今後も粘り強く取り組んでまいります

結果として自治基本条例は結実しませんでした。市民、行政、議会が取り組んできたことは、決して無駄にはなりません。今後も住民自治を進めていくため頑張っております。

国の事故対策が大幅に後退

## 原子力軍艦の防災対策

福島の原発事故を受けて、国は昨年9月に防災基本計画の変更を発表しましたが、原子力艦の原子力災害の防災対策が大幅に後退していました。

これまで、原子力艦の防災対策にかかわってきた原子力安全委員会に代わる専門的な組織が、まったく削除されたままになっています。新たにできた原子力規制委員会では原子力艦の防災対策にはかかわらないとなっています。（右表参照）



井坂しんや議員

## 原子力艦は後回しでよい…市長答弁

井坂しんや議員は、この事実を示し市長の見解をただしました。市長は「原子力艦対策の記載内容はほとんど変わらない」と述べ、国は原発への対応を優先しているため原子力艦の対策は後回しでよいとの答弁でした。



国の事故対応が大幅に後退しているのに、市長のこのような姿勢では、万一事故が起こったとき市民の安全は誰が守るのでしょうか。

## 横須賀市における比例票の結果と推移

	今回		10年参院選		09年衆院選	
	得票数	得票率	得票数	得票率	得票数	得票率
自由民主党	82,237	39.32	60,875	31.68	84,781	35.89
維新の会	32,656	15.61				
公明党	25,482	12.18	27,996	14.57	26,636	11.27
民主党	24,623	11.77	44,636	23.23	85,518	36.20
みんなの党	19,865	9.50	28,973	15.08	13,295	5.63
日本共産党	11,353	5.43	9,933	5.17	13,616	5.76
未来の党	8,525	4.08				
社会民主党	3,820	1.83	7,021	3.65	7,413	3.14
幸福実現党	596	0.28	570	0.30	1,398	0.59
得票総数	209,157	100.00	192,157	(93.68)	236,246	(98.48)

## これからも公約実現に全力をつくします

みなさまのご協力のおかげで、選挙戦を力一杯たたかうことができました。

これからも公約実現に全力を尽くします。心から感謝申し上げます。



斉田 道夫

## 消された専門家の役割

国の防災基本計画が変更され、原子力艦の原子力災害への専門家の対応が空白状態

変更前の計画	変更後の計画
原子力安全委員会の活動	→ (削除)
○原子力安全委員会を開催し、専門家を招集する。委員及び専門家を現地に派遣する	→ (削除)
○委員及び専門家は現場の情報収集、分析などを行う。現地対策本部、地方自治体などが行う応急対策に対し必要な技術的助言を行う	→ (削除)
○原子力安全委員会は、現地に派遣された委員及び専門家からの調査報告、意見を踏まえ、非常災害対策本部長などに対し応急対策に関する技術的助言を行う	→ (削除)

## 市長として国に強く求めよ

また、防災基本計画では、原子力艦の事故が起こった場合の屋内退避、避難誘導等の防護活動の実施やヨウ素剤の配布計画などは、「原子力災害対策指針を参考にする」となっています。

そこで井坂議員は、新たな指針のPAZ(予防的防護措置を準備する区域5km)やUPZ(緊急時防護措置を準備する区域30km)の対象人口、関係する県や市町村などを質問しましたが、市長は「私が判断することではないから答えられない」「神奈川県と何にも相談していない」との答弁でした。

市としても早急に検討するとともに、神奈川県や周辺自治体とも協力し、原子力艦の防災対策の強化・改定を国につよく要請するよう求めました。